



大里っ子チャレンジ通信

No.5 2017年06月17日(土)

さいたま市立浦和大里小学校チャレンジスクール実行委員会

第5回大里っ子チャレンジスクールは、校外学習でした。～宇宙科学館を訪問～



6月17日(土)、第5回大里っ子チャレンジスクールを実施しました。

今回は、さいたま市立青少年宇宙科学館を訪問して、ワークショップ(プラ板工作)とプラネタリウム鑑賞(星空解説とアニメ「星をつかまえた王子」)、そして常設展示見



学でした。当日は、現地集合グループと武蔵浦和駅から電車・バスグループとに分かれて出発しました。武蔵浦和グループは午前8時前に集合し、武蔵野線南浦和駅経由で北浦和からバスに乗り換え、宇宙科学館まで行きました。遅刻者ゼロ!(感心、感心!!)

写真左:北浦和駅前でバスを待っています。写真右:武蔵浦和集合グループです。写真には写っていませんが保護者の皆さんも来てくださいました。

宇

宙科学館に着くと、もう開館時刻を少し過ぎていました。玄関前で出欠を確認していると宇宙科学館職員の「おばた」先生が出迎えてくださいました。入館すると早速ワークショップにチャレンジしました。今回の内容は、「プラ板工作」でした。透明なプラスチックの板にカラーペンで思い思いの絵を描いて、それをオーブントースターで加熱すると、小さく縮んでキーホルダーのようになるというものです。

はじめに、おばた先生の説明を聴いてから、作業に取りかかりました。みんなとても一生懸命でしたね。2年生のMさんは、父の日のプレゼントにするのだと頑張っていました。(パパはきっと感激!ですね。)



右の写真はワークショップの様子です。実行委員長の伊藤さんも作業を手助けしています。親子で取り組んでいるほほえましい姿も写っていますね。誰もがみんな一生懸命に取り組んでいましたが、選んだ絵、色の塗り方、構図などそれぞれの個性が出ていました。みんな、みんな小さな芸術家でしたね。頑張る姿に胸がキュンとしました。



ワークショップの後、プラネタリウムの時間待ちの間、館内の展示を見学しました。特別展示のコーナーではカブトムシの展示がありました。実際に触ったり、持ったりできたので、虫好きの男子などは大喜びでしたが、中には怖い!と言っている人もいました。また、世界最大と言われるヘラクレスオオカブトも、生きているものが展示されていて実際に触ることが出来てみんな大喜びでした。実物を見るのは大切ですね。



プラネタリウム

～春から夏への星座の移り変わり～

プラネタリウムは、宇宙科学館を訪問した6月17日の夜から18日の朝までの星座の様子を見せていただきました。初めは、木星と土星のお話、そして、北斗七星から北極星を見つける方法、それぞれの星が含まれる星座のお話などがありました。おおぐま座とこぐま座の話（ギリシャ神話）は次のようなものでした。

月の女神「アルテミス」のお供に、狩りの上手な女性「カリスト」がいました。彼女は、ある日、全能の神「ゼウス」に見初められ、「アルカス」という子どもを産みます。これを知ったアルテミスは激怒し、カリストの姿をクマに変えてしまいます。カリストは森の奥深くに隠れて暮らしますが、彼女の子どもアルカスが大きくなった時、偶然、森の中でクマに姿を変えた自分の母カリストを見つけ、彼女を殺そうとします。この様子をオリンポスの山から見ていたゼウスは二人を哀れに思い、息子のアルカスをクマの姿に変え、天に昇らせた。という話です。おおぐま座はお母さん、こぐま座はその息子の姿です。二つの星座の東側には、二匹の熊を追う、二匹の獵犬座とそれをけしかける牛飼い座があります。（毎年違う時期に宇宙科学館に来るのでいろいろな話が聞けます。来年はいつにしようかな？）

お おくま座とこぐま座は春の星座のようですね。星座にまつわる話の流れは、春の大三角から夏の大三角、そして「こと座」「はくちょう座」、そして七夕で話題になる「織姫座」、「彦星」、天の川などの話が続き、6月16日の夜が明けていきました。プラネタリウム投影の後は、アニメ「星をつかまえた王子」でした。お城に一人で住んでいる王子が流れ星をつかまえるよういろいろな工夫しますがなかなかつかまりません。ある夜、王子はとうとう流れ星を捕まえることが出来ます。つかまえた流れ星は時間が経つとしぼんでいきますが、王子が一生懸命息を吹きかけると、流れ星はまた元気になっていきます。そんなことを繰り返しているうちに、王子のところに象に乗った星のお姫様がやって来ます。二人は仲良く象に乗って星空を進んでいきました。・・・というお話でした。



※N君は家庭の都合で間に合わなかったため黄色い枠で載せました。

次回（第6回）は、

6月24日（土）です。

*前半は、ブックランドで自主学習です。

*後半は、工作室で工作をします。（内容は未定です。浅倉先生から連絡があり次第、プリントまたは一斉メールでお知らせしますので、特に、メールに注意願います。

※今号の花のイラストは「タチアオイ（立葵）」。校区内のあちこちで見かけます。小学生の背丈以上もある茎から直接花が咲いています。花言葉の一つは「豊かな実り」。児童の皆さんの才能も豊かに実ると良いですね。